

(別添様式)

埼玉県環境SDGs取組宣言企業(学校法人 ホンダ学園 ホンダ テクニカル カレッジ 関東)取組報告

報告年月日 令和7年2月12日

### 1 企業等基本情報

所在地	埼玉県ふじみ野市鶴ヶ岡5-2-2		
電話番号	049-264-0121	URL	<a href="https://www.hondacollege.ac.jp/honda_e/">https://www.hondacollege.ac.jp/honda_e/</a>
業種	81 学校教育	従業員数	73名
事業内容	自動車整備士養成・自動車開発者養成の為の専門学校		


### 2 取組概要

NO	取組内容、成果、PRポイント	SDGsのゴール
1	<b>【人材育成・環境学習】</b> ①自動車整備に関する消耗品/廃棄物の適切な処理について学習:自動車の廃棄物が環境に対する及ぼす影響を学ぶ。廃棄物の適切処理・作業実習。(オイル分別処理やエアコンガス回収機の取り扱い) ②環境教育講義・演習:自動車地球環境に与える影響を学び、将来の自動車産業に係る社会人としての環境に対する心構えの理解。(学科・演習) ③「子ども大学SAITAMA」授業実施/近隣小学校の社会科見学受入れ(3校254名):子供たち対象に、地球温暖化・燃料電池実験などの自動車に関する授業を通じて、環境意識を高めた。(2024年7月、11月)	
2	<b>【省エネ】</b> ①エアコン更新:学生の快適な勉学の場の提供と、省エネを両立させるために、計画的に更新。また、一括制御による消し忘れ、過度な冷暖房設定防止を実施し、昨年同時期比較、電力削減量26,784kwh、CO2削減量10,928kgを達成。(4月~12月迄)	
3	<b>【廃棄物】</b> ①食品廃棄量の低減:温室効果ガスの低減に向け、学生登校数・学校イベントに同期した学食弁当食数予測による食品ロス低減。弁当廃却率について今期1.3%。(2021年度6.3%→2022年度2.9%→2023年度1.9%→2024年度1.3%と年々減少) ②油脂類の一括管理:今期から、自動車整備授業における油脂類について、各学年各単元の個別管理から、一括管理。2024年12月在庫総計:8060→5020へと、3040削減。油脂類管理量オーバーによる廃棄ロスの低減となった。	
4	<b>【3Rの促進】</b> リソースサーキュレーションを目指し、廃棄物の分別実施。 ①授業における車両整備に伴う、部品や消耗品を可能な限り分別し、リサイクル資源化。(産業廃棄物) ②紙・食品残渣などの生ゴミ全般などの一般廃棄物分別実施。(美化委員会活動) 結果、産業廃棄物:38.22t、一般事業系廃棄物:5.55tの量を、分別により、資源資源の効率利用につながった。(2024年4月~9月実績)	
5	<b>【社会貢献活動】</b> ①地域清掃活動による公共環境の維持・整備として活動実施。教職員と学生が、通称“254花の会”(H14年~)で、活動に参加、ふじみ野市の国道254号線沿いの清掃活動及び花を植える活動を継続。(2024年12月18日) ②教員と学生が、3大連休前に地域清掃実施。(2024年7月26日、2024年12月26日)	

※取組を5つまで記載

※「2 取組概要」の部分については、必要な項目が記載されていれば上記表形式によらずとも可(図表、写真も可。ただし、全体でA4縦1枚に収めること)

### 3 他社の環境SDGsの取組に貢献する製品・サービス等

内容	SDGsのゴール
<p>創立49年の伝統あるホンダ学園は、2万人を超える販社現場・製造現場を支える卒業生を数多く輩出してきました。”世界に歓迎される人間の育成”を使命とするホンダ学園は、常に中心に「人づくり」があります。ホンダ学園は次世代の人材育成に一層注力していく中で、SDGsに関する取り組みも重要な施策となります。社会人として、企業活動における環境に配慮できる人材の育成を目指します。</p>	

※自社の有する環境に配慮した製品・サービス・施工技術等で、他事業者がそれを利用することで、環境分野のSDGsの取組を進めることができるものがあれば、200字程度までで記載してください。(図表、写真も可)

※本様式をそのまま県ホームページに掲載